

# 研究実施のお知らせ

2017年7月31日 ver.1.0

## 研究課題名

入力言語が対象および場面認知に及ぼす影響

## 研究の対象となる方

2017年8月から2020年7月の間に、2歳～5歳のお子様、または、島根大学生である方。

## 研究の目的・意義

私たちが場面や対象を見るとき、どういった側面に注意を向けるのかということについて、場面や対象を見ているときに聞くことばがどのような影響を与えているのかを明らかにします。このことによって、注意の向け方が文化によって異なるのはなぜかが明らかになり、自分たちや他の文化圏の人々をより深く理解することができるようになります。

## 研究の方法

モニターに動物たちが遊んでいる場面や様々な対象などの画像を提示します。画像を提示している途中でナレーションが流れます。ナレーションが流れる前と流れている最中および流れた後で、画面のどこに視線を向けているのかをアイトラッカーという装置を使って測定します。また、ご協力いただいたお子様の月齢、大学生の方の年齢をも教えていただきます。これらの情報は、外部から容易にアクセスできないパーソナルコンピュータに保管します。コンピュータにはセキュリティを設定し、研究代表者のみが使用します。

## 研究の期間

2017年8月～2020年7月

## 研究組織

この研究は島根大学人間科学部 村瀬俊樹が行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：村瀬俊樹

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2018年3月までに実施したものについては2018年5月までに、2019年3月までに実施したものについては2019年5月までに、2020年3月までに実施したものについては2020年5月までに、お願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：村瀬俊樹

島根大学人間科学部

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

電話 0852-32-6173 FAX 0852-32-6259（人間科学部事務部）